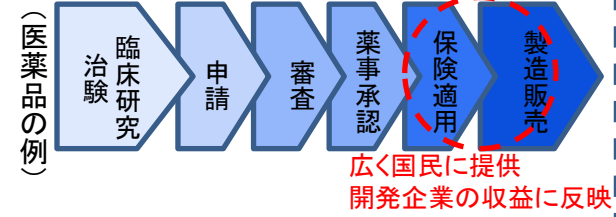




# ④費用対効果を勘案した医療技術等の評価に関する研究・調査 要望額 : 0.8億円

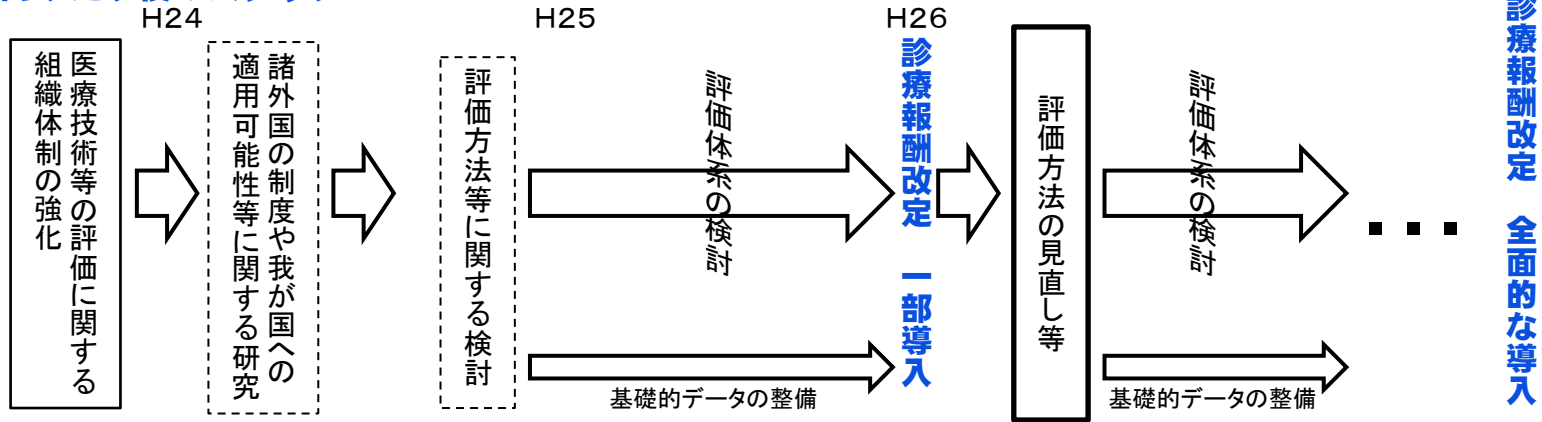
## 課題

- 革新的な医療技術、日本発の医薬品、医療機器の開発について、そのイノベーションを医療保険上適切に評価し、開発のインセンティブを確保する必要がある。
- 持続可能な医療保険制度の維持に向けて、限りある資源を効率的に配分する必要がある。



保険償還価格の設定において、医療技術、医薬品、医療機器の保険償還価格の設定におけるさらなるイノベーションの評価及び、費用対効果を勘案した評価の導入に向けた取組を実施

## 導入に向けた今後のステップ



参考) 社会保障・税一体改革成案 工程表

- 医療イノベーション (抜粋) 保険償還価格の設定における医療経済的な観点踏まえたイノベーションの評価等のさらなる検討

### 24年度要求

#### 費用対効果を勘案した医療技術等の評価に関する研究

(要望額 0.3億円)

医療技術等の保険償還価格における評価において、さらなるイノベーションの評価や、開発のインセンティブを確保しつつ、費用対効果も勘案した評価を行うため、実際に諸外国で行われている評価体系で医療経済評価を実施した場合における、各評価方法の実務上の利点・欠点を明らかにし、実行可能性、政策応用可能性等を検証する。

### 24年度要求

#### 医療技術等の評価に関する調査・検討

(要望額 0.5億円)

医療技術等の保険償還価格における評価を日本に導入するにあたり、研究報告等も踏まえつつ、日本への導入方法や国内における医療経済評価ガイドライン等に係る検討会の開催及び日本で評価する際に参考とするために海外の評価実績事例集の集積事業等を実施する。